

## 集会にご参加ください

1967年2月11日、「建国記念の日」なるものが制定されて以来、札幌キリスト教連合会では「信教の自由を守る2・11札幌集会」を企画し、平和と信教の自由の大切さを訴え続けてきました。

信教の自由は、すべての人が享受すべき基本的人権であり、社会の公正な発展のために欠くことのできない基礎です。かつてこの国は、国家神道を事実上の国教に祭り上げ、思想・信教の自由を抑圧し、他の宗教団体を戦争遂行の具として動員しました。アジア・太平洋、そして沖縄を始めとする日本の民衆に大きな苦難をもたらしたその歴史は、深刻に反省されなければなりません。日本国憲法は、第9条に明示された平和主義を支えるものとして「政教分離」「信教の自由」の原則を掲げています。しかし、その理念はなお定着したとはいえません。わたしたちは、平和のために絶えず「政教分離」「信教の自由」の実現を求め、また訴えていく努力を促されています。

東アジア情勢は非常に緊張し、近隣諸国の対立は険しさを増しています。講師の金性済牧師は日本キリスト教協議会（NCC）総幹事として、北朝鮮・平壤のキリスト教会を訪ねるなど、真実の和解と平和への道しるべを模索してきました。この世の寄留者であるキリスト教会は、自由と平和の理念に基づく社会の実現のために何をすべきかを一緒に考えましょう。

\* \* \*

今回の講演はオンライン（札幌北光教会YouTube）で視聴することも可能です。ネット中継自体は無料で視聴できますが、視聴される方はこのしおりを必ずご購入下さい。

メールアドレス shinkyougu@gmail.comです。

\* \* \*

この“賛助のしおり”は、ご自身が参加されるだけでなく、他の方々にも集会開催の支援をいただきたく、経済的なサポートのためにお買い求めいただきたいと存じます。（一部300円）

支援金は、当日、北光教会にご持参いただくか、下記口座に振り込んでの送金をお願いいたします。その際、通信欄に「2・11集会賛助金」とご記入ください。

口座番号 02790-7-5890 加入者名 札幌キリスト教連合会

## 講師より

講師の金性済牧師が聖書研究のために渡米したのは冷戦が終結する前夜（1989年）でした。それが契機となり、聖書の中の「寄留者」の研究に着手します。あれから30年の歳月の中で世界と日本は何を失い、また隠れていた何があらわとなって変貌してきたか…。講師は、聖書研究か



ら得た視点から、この問いに光を当てようとします。2019年には日韓関係、そして朝鮮半島の南北関係も悪化する中で、講師はNCC総幹事として、日朝の真実の和解を求めるひとりの日本人元老牧師の願いに答え、平壤のキリスト教会に書簡をもって訪ねました。幾つもの困難の果てに実現した忘れ難い旅の意味についても振り返ります。2024年は能登半島地震という大きな悲しみの中で幕を開けました。亡くなられた方々を悼み、被災者が守られますように心より祈ります。同時に、二つの戦争に直面するこの世界の闇とは？また、私たちの暮らす日本と朝鮮半島を含む東北アジアの中に突き刺さったトゲとは？この問いについて講演を通して共に考えようと思います。

\*\*\* プロフィール \*\*\*

### 講師 金性済（キム・ソンジェ）牧師

1952年 ザイニチ2.5世（父1世、母2世）として大阪に生まれる  
1982年 同志社大学大学院神学研究科卒業  
1983-1989年、1996年-2017年  
在日大韓基督教会岡山教会、川崎教会、名古屋教会牧師、明治学院大学・立教大学非常勤講師  
1989-1996年  
米国カリフォルニア・パークレーに所在する連合神学大学院（The Graduate Theological Union）にて旧約聖書学研究、Th.D.（神学博士号）取得（学位論文『ゲール〈寄留者〉と古代イスラエルのアイデンティティ』1996年3月）  
2018年3月19日より、日本キリスト教協議会（NCC）総幹事就任、今日に至る